

事務事業名	人形劇創造支援事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	23	終了	
H27担当課等名	文化会館	H27係等名	人形劇のまちづくり係	H26係等名	人形劇のまちづくり係							
基本計画上の位置づけ	政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり		施策	27	文化芸術の振興					
目的	対象(誰・何を)	①飯田市民 ②地元人形劇団(市民劇団・小中学校の劇団・保育士研修会)			対象指標	指標名及び単位		26年度数値				
	意図(どういう状態にするか)	①人形劇の創造活動に参加してもらう。 ②新たに人形劇を創造し、発表できるようにする。				飯田市の人口		102446				
	向上させたい上位施策の成果指標	文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人の割合(%減らす)				地元人形劇団(市民劇団・小中学校劇団・保育士研修会)劇団数		63				
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)			
	成果指標	人形劇創造活動への参加者数(実数)			600	628	600	600				
	成果指標	地元人形劇団の上演回数			150	251	150	150				
定性目標												
事業概要	<p>市民が人形劇を見るだけでなく、演じることを楽しめるようになるため、市民劇団や多くの市民が多彩な人形劇の創造活動に取り組めるように支援する。また、地育力の向上に向けて、学校教育や保育活動に人形劇を取り入れられるように支援する。</p> <p>1 いいだ人形劇センター創造支援事業・・・いいだ人形劇センターに負担金を支出し、専門的な創造事業、創造支援プログラムを実施する。</p> <p>主な事業 プロデュース人形劇創造事業(くすのきワークショップ第Ⅲ期)、基礎レッスン、体験プログラム、人形アニメーション創造事業等</p> <p>2 学校・保育園等での人形劇活動支援・・・小中学校・保育園・幼稚園への指導者派遣、指導者研修、合同研修、美術制作費補助など</p> <p>3 地域資源を活用した人形劇創造事業・・・飯田の人形劇文化である浄瑠璃、糸あやつり、人形アニメーション等を活かすための人材育成プログラム</p>											
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標			
	1 いいだ人形劇センター創造支援事業 (1) いいだ人形劇センタープロデュース創造プログラム「人魚姫」制作事業 (2) 人形劇の基礎レッスン・・・初級人形劇講座、人形操作等の講習会、座学 (3) 人形劇体験プログラム・・・獅子舞ワークショップ、人形づくりほか (4) 人材育成プログラム・・・舞台美術デザイン講座、指導者育成講座等 (5) 人形劇の相談所 (6) 人形アニメーションの作業場				1 (1)実施回数 (2)実施回数 (3)実施回数 (4)実施回数 (5)実施回数 (6)実施回数				1 (1) 89回 (2) 32回 (3) 12回 (4) 53回 (5) 5回 (6) 72回			
	2 学校・保育園等での人形劇活動支援 (1) 小中学校・保育園・幼稚園への講師派遣 (2) 指導者研修会 (3) 小中学校劇団の合同講習会 (4) 美術制作費の補助				2 (1)講師派遣回数 (2)研修会実施回数 (3)合同講習会実施回数 (4)制作費補助金支出件数				2 (1) 53回 (2) 3回 (3) 1回 (4) 20件			
3 地域資源を活用した人形劇創造事業 (1) 竹田の糸あやつりワークショップ				3 (1)ワークショップ実施回数				3 (1) 30回				
事業コスト	25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足							
事業費計(千円)①	14,494	9,801	9,633	7,086	(国)(H25)地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金							
国庫支出金	7,060	5,768	5,768	3,550	(国)(H26)地域発・文化芸術創造発信イニシアチブ事業補助金							
県支出金					(国)(H27)文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業補助金							
起債					(そ)ワークショップ参加費等							
その他	342											
一般財源	7,092	4,033	3,865	3,536								
人件費計(千円)②	3,022		3,022									
正規職員所要時間	800		800									
臨時職員所要時間	150		150									
総事業費①+②	17,516	9,801	12,655	7,086								
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>広域的な参加者のあったフィギュアシアタ・デザインコースを始め、人形アニメーションワークショップにも取り組み、参加者たちがオリジナルの人形アニメーション制作に取り組んだ。人形劇ワークショップの第Ⅲ期として取り組んだ人形劇「人魚姫」は、地元の参加者と関係者の支援によって一つの作品として仕上げる事ができた。これらにより、創造活動への参加者数も目標を上回った。</p>											
改革改善の考え方	①問題点	学校での人形劇活動の時間の減少、人形劇フェスタ出演のための担当教諭の負担、専門的な指導者を派遣するためのコスト面の問題等										
	②改革提案	外部講師の指導・助言だけでなく、常に専門的な助言ができる体制を地域内に構築する必要がある。人形劇センターと連携し、指導者となる人材の育成に取り組む。										